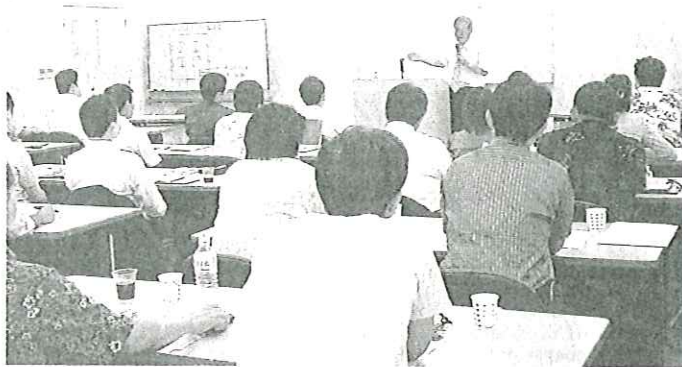


# 「和僑会」が本格始動

観光、ITで 海外での提携探る  
専門部会

海外での事業展開を目指す経営者が3月に設立した「沖繩和僑会」が活動を本格化させている。6月から会員の正式募集を開始。近く観光や情報技術(IT)



香港和僑会の創始者である筒井修氏の講演もあった沖繩和僑会の総会—9日、那覇市の海邦総研

の専門部会も設立し、具体的な研究活動を始める。10月には中国である世界の和僑会の交流会に参加し、同ネットワークを活用した事業提携の可能性を探る。和僑会とは世界で活躍する中国人の「華僑」にならい、日本人経営者の交流拠点形成を図る目的で2004年に香港で発足した組織。現在は中国などアジア各国と日本国内に組織がある。

沖繩和僑会は現在までに26社が会員登録。9日には那覇市内で初の総会を開き、代表幹事に金城和光沖繩ヒューマンキャピタル社長、副幹事に栗田智明インデックア沖繩社長と伊波貢海邦総研取締役の2人を選んだ。

10月24〜26日には中国の香港と深圳で世界の和僑会が集う企画があり、沖繩も10人程度を派遣する計画。基地内事業の受注拡大に向けた研究なども進める。金城代表は「単なる勉強交流会でなく、和僑会の組織を活用して海外での事業提携の可能性を探りたい」と意欲を語っている。